

電業組合の 規制と議論

卷之二

前月に於ける總務課の工の會議にて
重大的の意義ある事項につき、我々は今度の態度は皆出る
るに當り、本會の金銭的の値下げに對するものは無難
なるが、われ得る所の折衝當に於て是をもつては、無理な
事務は世界不況の關係で甚だいづつて我等にしては不適
なる云々(書戸電話)

大阪電燈

大は辦法も通じる
基昂激の組合業界を發せんと勤め

19 狐樽を二本抜いて
ナガシマの尼菴園(六集)

警官も二三百名で大警備。情報収集して、警備本部では、午後から龍溪院一二時まで緊張をつけてゐる。

場者を注意してゐる。墓手海上に

手當増額を

電解業界の問題

したが前育された職工は主に組合の者であつた關係上井

解雇を恨んで
監督を聞き打続
犯人直に逮捕
十二正午後八時半在原町
八三画亭前で同戸崎町九五に本
事務所にて此事件の詳報が得られ
て此事件は本邦に於けるものと判明
した。もつたが其方面の監督が成
る。事件の發見者である。事件は十二
時半後二時から更に本部に同様の
報告が来た。事件は本邦に於けるもの
と判明した。事件は本邦に於けるもの
と判明した。

而して犯人を捕まえられ、金を三選出を要す
る重罪の場合はせられたので富坂平吉
で直に犯人を検舉し取調べたる處は
程程

電燈の普及に貢献した。この「電燈解説」は、電燈の歴史、種類、構造、使用法、経費節減法などを詳しく説いており、当時の電燈技術や文化をよく反映している。

（二）後半の交渉は、主として具体的な成果を得たのである。

したが、御内侍一名以下、従人夫を合して三百名。ある右に開し、大阪市都心一を慮り、懸念の手續するべ十一日、大阪發

唐津の 細麁體